

夢想心兵衛胡蝶物語前編

壹

^ 13
3096
1



門入 13
3096
巻 1

13
3096
1-9

胡蝶

物語

自叙

慎懃

物^{もの}み^りひ^ひ凝^こる^るゆ^ゆへ^への^の夢^{ゆめ}と^とひ^ひり^り後^{のち}亦^{また}覺^さ

て^てお^おく^く所^{ところ}を^をう^うら^らん^ん夫^{その}夢^{ゆめ}の^の形^{かたち}貌^{まう}の^の影^{かげ}あ^ある^る亦^{また}公^{こう}神^{しん}の

勞^{つと}ひ^ひを^を人^{ひと}目^めを^を閉^とじ^じる^る日^ひは^は昔^{むかし}け^ける^るその^{その}影^{かげ}ま^まあ^あり^り

志^{こころ}あ^あれ^れど^ども^もその^{その}影^{かげ}を^をえ^える^る所^{ところ}の^の影^{かげ}ま^まあ^あり^り

亦^{また}昔^{むかし}莊^{じやう}子^し夢^{ゆめ}は^は胡^こ蝶^{てつ}と^とり^りま^まる^る相^{あひま}と^と然^{ぜん}と

し^しる^る胡^こ蝶^{てつ}也^{なり}ま^まる^る意^いを^を得^えて^て莊^{じやう}子^した^たる^る故^{ゆゑ}

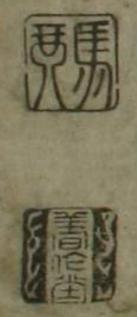
世説新語



昭和九年
七月二十四日
購求

あつど、俄然とて覺るるとん、蓬と然とてあ
莊子也、莊子が爰又胡蝶とある、歟、胡蝶の爰、
莊子とある、歟、是て後、不執、一、万物の变化、疆
あり、浮世と恰大夢、小似たを、善悪、の、莊子と胡
蝶の如く、善の善なる我、我、の、悪の悪なる、家、
我たる、是て後、あり疑、の、教育の夢、小形を、見
ど、聾者の夢、に、音を、す、音を、か、ん、も、つ、が、
小、あ、を、悪を、みる、も、我、の、あ、り、つ、が、眼の、い、ま、ご、え、さ、る
と、さ、ら、の、い、ま、ご、え、さ、る、不、執、り、つ、が、れ、を、め、み、ん、性、の
善なる、化、と、悪と、あり、性、の、悪、なる、化、と、善、と、なる、皆
是、の、起、く、所、の、形、は、後、小、異、り、つ、が、ど、夢、か、れ、た、爰
あれ、や、是、を、つ、が、の、め、く、と、さ、ら、を、知、つ、べ、。

文化六年己巳六月 曲亭主人識



田中...

夢想兵衛胡蝶物語目録

少年四

此の巻は當歳より十五
歳までの一時期の物語
剛の夢愛二柱の神々

色慾四

此の巻は十六歳より廿五の
あつた一時期の物語
の神々を用いたもの

強飲四

此の巻は強飲の物語
あつた一時期の物語
をとりとるもの

貪婪四

此の巻は四十九より六七十歳
までの一時期の物語
はを長編のもの

全部五冊總目録完



夢想兵衛胡蝶物語卷之一

東都

曲亭馬琴戲編

發端

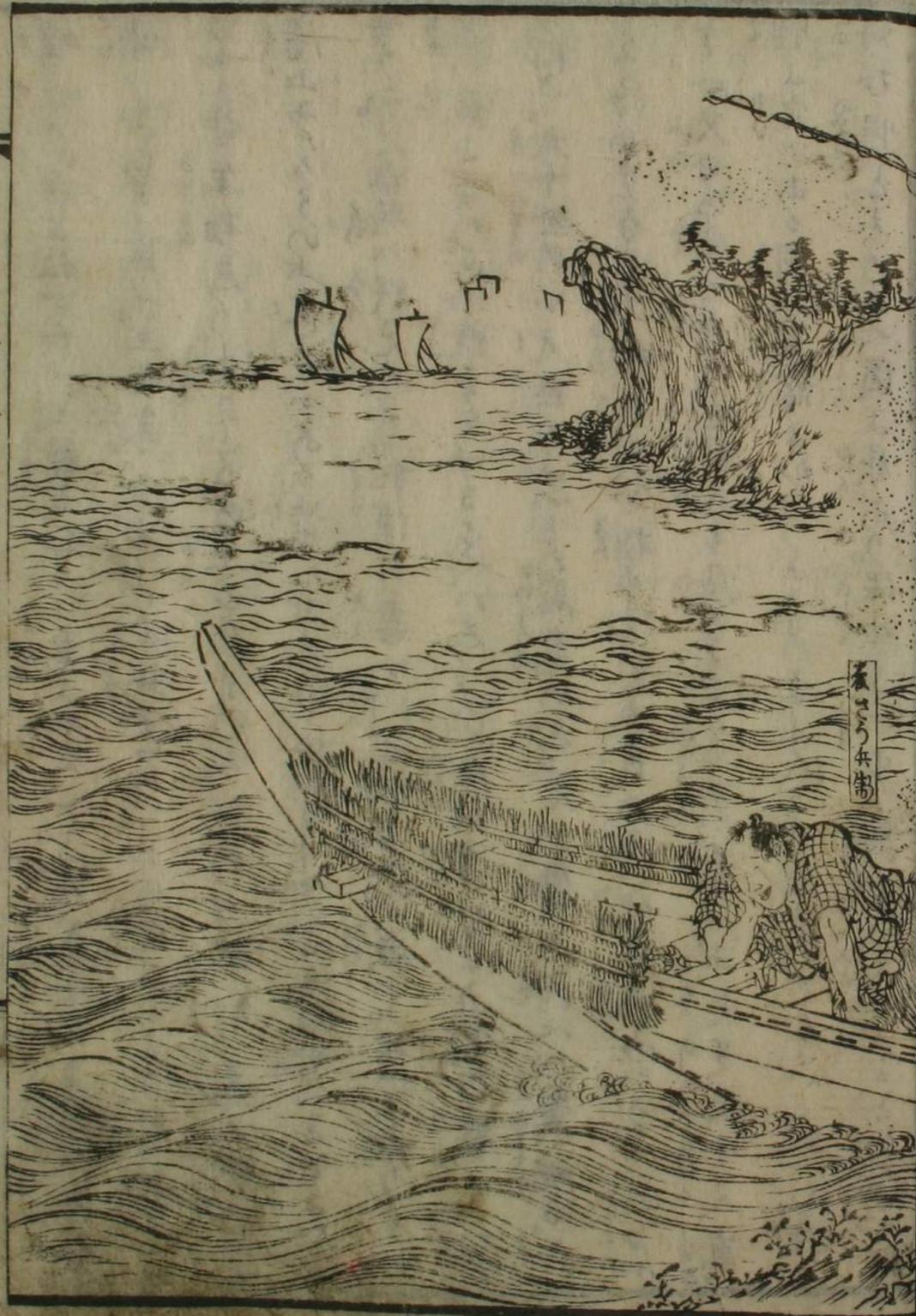
人生五十年。七十の古未稀あり。疆ある生を天地は稟て限るに終を止まら
耽ら。九六の百に繫と。一文銭は生爪を剃。三品五簞は火面を張て
利を射る音熱雨場の土らより響く。節前の大どりのひたつと。口を
つ位つ。借らるるたの地藏尊も玉を抱けり。地獄の制度も金次第と。地
圖魔の口へ抹香嘗ても腹の足らるる。地獄の制度も金次第と。地
も。金言ある。他の物と名はく。金銭を長運昌
ら。一夜の夜の猿人のと。入ぬれば出ぬあり。陶朱が財も子を救ふは
る。石崇が富も一期の有が。これに飲食の命を繋ぐ。轉る。壯骸と

物は東海の鯨條西山の鳳脯といふ。毛唐人の食ふもの。小判を買
 いた知懸くも腹の街道茶漬くも。咽喉三才を通らうらむ。そこ
 して後二箇形は積まて。大夫とつらひの艶書設同根。それなれはの
 直ららむ。そをさへば室庫へ膝を容く。そののれりのよ。始皇の
 阿房も原憲が蝸廬も。宮も藁屋も。都も鄙も。廣いと陝と。ゆるり。足
 踏伸して寝たか。席薦一疊の外へ出されど。さして亦衣裳へ五尺の體を
 累ふ。假の身の皮蜀江の錦も。嫩なる緇袍も。美しいと。志とられたり。あ
 らう。えふ。赤裸。宗向院の土とすり。それが美肢。結く人。あ
 えて美む。紗綾縮緬でも。犢鼻褌。抗鼻褌。ほり。二重。純子の帯
 まい。麻上下の麻上下。の道理を合点。なれば。肩と膝とも。色紙。あて
 る帷子。着らむ。二伏の暑れ。肌。暖ぬ。もあり。二重。純子の帯。

ちめても。白日青天。又。多枝被。つら。あや。女あり。才。た。る。と。り。あ。の。衣。服。の
 美悪。よ。ら。ぬ。あ。の。商。人。の。よ。ら。ぬ。衣。着。さ。う。と。や。と。今。の。序。者。の。よ。ら。ぬ。
 ちや。風。雅。でも。酒。落。でも。あ。ま。す。せ。そ。く。驕。ま。い。せ。物。差。を
 ちて。高。い。り。の。と。り。あ。る。宛。は。な。れ。ど。二。季。を。い。と。り。あ。を。と。り。借。小
 袖。流。行。摸。模。の。人。を。よ。め。た。ち。ん。と。さ。す。と。一。ツ。お。人。三。ツ。お。人。襲。衣。で。被。て。出
 へ。か。ん。や。褌。前。の。質。屋。の。庫。へ。向。う。あ。る。も。い。と。ろ。ろ。畢。竟。衣。服。の。貴。賤
 を。こ。ろ。ち。礼。儀。を。整。る。彩。色。な。れ。ば。蔽。れ。う。と。も。袴。を。引。け。精。た。も。お。太
 刀。と。さ。え。瘦。身。代。でも。借。倒。さ。げ。天。を。授。つ。た。け。の。業。を。勢。めて。暇。あ。る。と。り
 と。り。の。青。表。紙。の。端。を。開。た。昔。の。人。の。風。流。を。え。る。今。の。態。と。る。厚。え。ん。の
 金。り。つ。く。苦。と。と。ろ。ろ。の。す。べ。天道。必。盈。る。成。缺。く。金。が。あ。れ。ば。づ。る。子。が。あ。る。
 子。が。多。な。れ。ば。浅。が。る。美人。は。馬。鹿。あり。醜。郎。は。才。子。あり。氣。の。利。あ。る。浮。気。多

く。空にあられ、意地が強し。堪忍五兩と定め、小妻木綿が一疋で、き、或三
 四が、まゝの相場ありて。密夫の扱金あり。武兩二分下、垂るらちと引、あら
 ぬ志ろ物、ちやとひとり、とまの吸物碗、十人前、は、足らねども。昔、堅地で、四
 年、並の、ちやうとせ、我捨ち。一生、涯と夢と暮と。夢想兵衛といひ、の
 めり、ちや。渠、ちや、ちや、し、の、む、り。年、由、十六、む、さ、の、四、四、七、字、の、假、名、川、を、
 浦嶋塚のほり、り、又、位、ひ、り。こ、ま、殿、の、春、秋、と、む、く、風、も、樽、を、あ、て、釣、と
 細、と、よ、世、と、は、て。菊、を、東、籬、の、下、ま、採、ら、ね、ど、五、斗、米、と、腰、蓑、を、折、
 め、げ、上、え、て、ら、及、ぬ、る、の、ま、ら、た、と、雨、ゆ、ぬ、日、も、笠、と、放、さ、で、か、せ、ま、き、海、
 原、の、廣、た、よ、比、ぶ。常、又、一、葉、と、ほ、べ、て、ま。一、瓢、の、酒、と、た、の、と。船、は、眠、り。船、
 又、ま、え、り。ま、の、外、と、求、ま、り、し、ま。一、日、遊、谷、子、が、著、一、た、る。和、莊、去、衛、と、子、冊、子、
 を、ら、ん、く、と、ま、や、り。老、佛、道、を、踏、ま、り、く。ち、や、く、強、を、と、り。能、書、究、く、精、細、

それども。馬、兼、又、附、る、茶、も、ち、や。莊、子、が、ま、り、上、手、達、磨、か、そ、
 分、別、か、も、か、ら、る、ら、る、銚、子、と、の、情、も、ど、も。近、属、表、々、と、早、嶋、
 の、席、薦、へ、ら、ら、る、く、酒、と、ら、得、と、ま、た。類、の、え、ら、る、ハ、酌、と、る、女、子、
 の、凡、夫、心。席、薦、か、ほ、と、は、何、が、會、席、ハ、繁、昌、せ、と。頭、か、凡、
 ね、ハ、松、魚、由、下、司、の、ま、の、ハ、と、ど。人、間、萬、事、塞、翁、が、馬、乃、
 糞、で、菊、と、つ、ら、り、く、も。鑊、虫、が、放、バ、あ、も、あ、り、と。和、莊、兵、衛、由、
 灼、と、ら、の、ち、ど、ど。暴、風、み、あ、め、入、べ、く、と。暴、風、よ、あ、め、ど、ら、
 嶋、め、ぐ、り、由、と、ど、ど。嶋、め、ぐ、り、せ、ど、ハ、貪、福、窮、達、の、理、を、
 悟、ら、う、と、ど。貪、福、窮、達、の、理、と、情、も、ど、ん。何、と、か、り、く、和、莊、
 兵、衛、こ、い、ハ、ま、ん。画、よ、う、と、餅、綿、と、盛、と、扱、と、え、て、ハ、脾、腹、ハ、腰、と、備、
 じ。憂、由、つ、ら、も、食、入、る、の、く、葉、公、由、龍、と、ら、の、ま、と、ハ、真、の、龍、ら



舟の舟

浦島仙人



郷とのい煩悩郷とのい。食言郷とのい。歡樂郷とのい。おのく風は隨て
到んと自在に。努々疑ふるのふれと。いふとを人の形を滅て。釣竿
のしぞ遺りたる。

少年國

夢想兵衛ハ浦島が授け釣竿をりて。こを削りて骨とほ。大さ
あつ紙老鳩と張りて。ちと細り道と教は住して。釣糸の糸次つけれ。その
具合をものし。章魚とりて。鳥賊とりて。釣箱の縁もあり。
牛と花子の乳ひり。鼻を通りて。入嶽より進む。仙人より入り。さ
あつ。氣より。忽地雲は紫か。まを。假名川の臺より。ち出し。糸の
赤と。結と。ゆ。その糸の紙。鳥の背より。つれ。風のりて。ゆく。を。釣竿
う。東風をよくと。吹ち。ふ。不思議。やとの紙。鳥。夢想兵衛と。せ。せ。

空中は閃き。升り。雲と霞との。を。短く。糸の。胎を。し。途
中。長く。あり。富士山の頂上と。む。ま。ま。夢。想。兵。衛。と。
て。め。こ。そ。落。ち。いと。あ。ふ。一。心。不。乱。と。著。も。居。る。その。紙。鳥
ち。んと。住。り。動。う。ね。バ。危。き。は。到。り。て。お。ま。じ。い。とも。あ。ら。板。三。寸。下。の。地。獄。と
ま。り。る。が。ら。海。船。あ。つ。て。世。を。さ。る。もの。も。あり。梢。五。六。丈。上。り。た。落。と。ば。合。は
か。け。が。え。が。あ。つ。て。も。それ。限。り。と。ま。り。る。が。ら。枝。と。お。ろ。き。樵。夫。も。あ。ら。ど。外。う。ら
陥。む。や。う。あ。ら。ど。物。ハ。心。の。り。ち。は。貧。乏。も。貧。乏。深。き。バ。借。銭。を。が。苦
ま。り。る。ね。道。理。を。や。と。早。合。点。し。て。そ。う。く。淫。哥。う。ら。む。る。が。ら。下。界。遙。は
直。ち。や。ら。ら。ど。名。は。あ。少年。國。郡。ハ。何。と。い。や。う。と。ね。ど。水。子。崎。と。お。海
くて。この。処。の。人。物。を。悉。く。揮。見。せ。り。その。好。景。繪。は。画。の。小。人。島。は。異
る。が。亦。彼。塞。の。河。原。は。似。たり。され。ば。た。た。り。活。り。の。り。ま。も。く。化。生。ふ。て。

夢見夫奇卷

天地陰陽の氣は包まれ風の口くさうよ。どろどろと生てゆく。身の丈僅
 三尺又男や女や。さる髪をさうて。坊の窪へ一括その毛を踏し。
 顔門ひくくと動さる。天窗の柔あると。搦その餅の玉く。手も利ど足
 むまハ後バ立とも。歩好ともさるぬめのあり。男子ハ梳を垢ハ浅黄
 垢。女子ハ桃色を垢ハ白を垢。どとも鶴亀松竹の大さる。紋を金
 銀泥めて摺こまよさる。暗小袖とくと。副紐の外ハ帯と結ど。頸子を
 ほうれい綿を戴さる。腰さるがとと。味醂酒の樽の漏るどく。指輪の
 模様を。摺破ハありながら。三度の食も。乳けらるどん。飲ど大小伎
 居るどろして。衣裳の濡襟を。成厭ひバ。浴よるど成甚嫌らいて。月
 額を。麻の耐ハ割らる人の物。多物の差。別るく。さる物毎ハ不りどろく。
 中ねバ。どろどろ踏むり。合より。さる。只ハ入きて。齒のるんせよ。越る

もあり。大くさるぬめを。どろどろのりよ。も能言なれば。推量して。同とりどろく。
 火の焼と。さる。刃の鋭さ。成さるど。昼寐して。夜ハ。寝ど。枕ハ真一
 赤小豆と。入。蠟ハ。母衣。蠟と。調宝。かり。寐く。と。わけ。は。位。肚。餓。は。は。位。
 暗。は。は。位。さ。ぬ。人。と。足。は。位。外。へ。抱。て。出。ひ。は。る。く。その。位。と。死。は。兜
 あり。乳首。さ。さ。ま。と。れ。バ。忽。地。位。サ。ハ。妙。あり。その。ら。る。さ。や。ま。と。
 登。て。い。ん。さ。う。も。る。け。と。と。天。道。ハ。人。を。殺。さ。ど。この。水。子。村。ハ。恩。愛。と。い。よ
 二柱の神を。り。す。て。男神と。愛。く。命。と。稱。へ。女神と。如。く。の。命。と。移。へ。
 お乳母。ぬ。添。伽。尾。後。抱。ち。り。里。親。小。兒。医。者。の。神。と。ら。は。至。る。サ。で。神
 の。つ。め。は。集。め。ひ。て。さ。る。さ。る。由。緒。の。家。へ。ハ。お。乳。母。ぬ。添。伽。尾。後。の。神
 と。遣。し。中。人。の。如。へ。ハ。抱。守。里。親。の。神。と。つ。り。さ。る。く。の。如。へ。ハ。さ。る。さ。る。分
 身。し。て。影。向。あり。神。養。食。ひ。は。糶。ひ。神。育。は。育。り。その。慈。愛。の。深。は

正。硯の海と撈るとも。筆少の書も尺をさぐぐん。日又曝を小蒲團を。
 虱生る湯気立ち。膚むさる海蓋のどくもれども。これを臭と志る。
 雨又恨むまぢ。鹽水のさる鶏卵のあらも異るねども。これを
 穢と志る。懐の中膝のうへは尿をされても。腹をさるぬども。可笑も
 ろい。さ。びびり笑ひ。麻ると死ねんころと唄り。手を枕て胸を敲。足
 を揚て。腮を蹴り。髪をむさつら。乳房は齒形をつら。至て。腫痛む
 とあはども。そのせれをぢめぬ。虎子を枕して夜をあは。鄰ある
 さうて日とさじ。ややくは麻をほけて。やせ嬉しやとさ。同もさ。さの
 音又駭さる。火のほくやうは。踊る。結びくけ。髪を握り。食うけ
 の。茶漬の香の物を吐き。周公旦が土まらるもよとた。り。りさうと遠く
 走り迎へ。抱き起し。さうけ。るもせ。ひびる。腹も後。

安閑とある。やう。條ころん。心わら。や。田の。年。
 十二月めぐ生きた人でも。斯を長く。物。暇。く。
 ろ。打く。と。つ。その。あ。つ。て。の。堂。つ。る。も。天。窓。く。
 け。ぐ。ぐ。の。藝。を。さ。つ。け。ご。も。ご。ご。れ。の。醜。と。慶。員。を。定。め。轉。ぶ。を。剛。
 の。と。誓。め。位。と。よ。ん。子。と。誓。め。さ。と。り。の。魚。貝。を。食。せ。此。の。物。を。舐。つ。も。
 てん。と。青。と。改。と。拊。させ。め。奴。まん。ま。の。い。儀。美。を。お。け。い。ひ。あ。い。せ。の。の。と。の。と。
 の。ひ。大。便。を。う。ん。さ。の。ひ。小。便。を。ま。と。の。ひ。神。仏。を。の。へ。ま。う。と。の。ひ。花。は。る。の。物。を。
 わ。う。る。と。の。ひ。思。ふ。さ。の。ひ。の。奴。り。や。く。又。あ。う。と。の。ひ。ま。好。と。あ。ん。よ。と。の。ひ。ま。と。と。ち。
 と。の。ひ。得。を。ね。ん。の。ひ。釋。見。を。も。又。ね。ん。の。ひ。釋。見。を。も。と。の。ひ。釋。見。を。も。と。の。ひ。ま。の。ひ。
 た。つ。つ。と。の。ひ。犬。を。こ。ん。く。と。の。ひ。猫。を。あ。あ。く。と。の。ひ。鼠。を。ち。ち。く。と。の。ひ。魚。を。
 と。さ。と。の。ひ。茶。を。ち。ち。く。と。の。ひ。酒。を。あ。う。又。あ。う。と。も。の。ひ。も。奴。て。と。の。ひ。



古河相公江ノ新辰辰辰

五月三日



天竺の天

天竺の天

天竺の天

天竺の天

采より十五六歳と一期とて。衣服と肩と腰と縫ひあげ。守袋は迷
 子札と著る由あり。頭髪は小判形。頂顛の正中を剃り四方髪を
 四つに結の蜻蛉髪あり。女子坊主あり。月代を剃髪とゆふ
 正と婦ふな。髪をくくむ髪あり。天窗の向雲より引鼻より水柱の
 ありあり。弱は強は征せられて。これを餓鬼大将と仰ふ。樹は攀ると猿
 猴のどく。水と焔とて。河童のどく。草は隠ると鬼のどく。俗るとは
 鳥よ似る。衣裳は縫裂を厭む。肢體は生瘡を厭む。犬とけけけけ
 棒とまわ。嵐と愛しく。冷と鳴く。春は紙鳶は飯時を忘ま。鄰の
 梅花とらじ。夏は蝉と捕ふ。蝙蝠ととらふ。冬は雪蓋の殺生と樂しむ。
 秋は野ぶら。蜻蛉と逐ひ。冬は背門は水と碎き。雪は氷團め。虫と集れ
 ども。これと燈とて。書と讀とて。只月の勢ととる。不朝の五つ。

昼のハツや。机よむひ。筆とそれども。一畫一点も。習ひ人形の首も
 うれ飽ま。草紙へ水とくけ。勘定とあり。出せぬ小便よ。じく立て。
 儂草の草履をかく。ゆれく。ゆるい。廁へり。掃桶の桃の樹よ。かを
 け。大小便の番れも。その敷つれて。えん。け。筆と。紙。洗。聚。を
 つけ。手と塗面と塗る。草紙より黒く。深々袖でう。土間を。既足
 がある。人の前へ。出せぬ。指と銜え。遠巡り。袋を被つる。猫のどく。こま。こま
 弱はを罵ると。膝とと。膚。剃刀のどく。式。好。ぬ。り。踏
 ら。雪踏の。を。厭む。或。障子と破る。行燈。穴をあけ。壁を。せ
 て。土を食ひ。持仏と。搜。線香と食ふ。りのあり。その。取。け。し。師
 近尊者。已む。紙。机よ。の。茶碗。水を入。り。時。と
 志く。恥。と。灸。と。四鄰を。動。く。月。の。お。を。

此地の國法ハ罪あつて答ふとん。申脱去まふ。さび責む。或ハ醫と
 つり。或ハ背と打。蔑のるぬ。やうよる。あまの痛む。細引とそつと縛り。押
 入戸棚へ入とそつと。刑罰の第一とて。おぼくハ昼の夕燈。火をさう。艾を
 見せと懲まの。みろ。天夫控の閑開あり。今よ至つて。その如を管領一
 方ハ兩親尊者。惑溺恩愛の他法。なれ。至て。ぬる。さ。佞。願あり。さ。とりて
 下賤の男女。その法と怖と。ど。よろづおのが。惑よ。る。な。よ。兩親尊者へ。悔
 苦。旁と。り。眞罰。終。脱。ま。て。月のおた。ど。ろ。ろ。る。も。あり。その中
 よ。鼻の下の長。さ。りのあり。ぬ。の。長。さ。りのあり。ぬ。の。長。さ。りのあり。鼻の下
 の長。さ。の。生涯。な。る。ぬ。の。長。さ。の。必。必。食。り。羊。の。長。た。ハ。う。あ。盗。む。お。れ
 ども。兩親尊者。これと。さ。さ。ど。あ。れ。と。そ。も。よ。れ。と。お。り。ひ。て。人。は。對。て。彼
 と。哭。む。ひ。り。入。あ。り。て。彼。と。哭。む。と。れ。ハ。目。と。細。く。鼻。と。ひ。ら。せ。飲。び。も。よ。大

く。さ。と。賞。罰。正。一。く。さ。る。な。ま。食。物。と。見。と。へ。な。り。つ。れ。動。も。と。れ。ハ。つ。ま。ま
 食。と。桃。柿。梨。子。蒲。萄。甜。瓜。西。瓜。蜜。柑。九。年。母。と。食。ふ。と。餓。し。様。の。ぞ。く。
 唐。加。子。さ。ら。し。薯。と。最。上。の。珍。味。と。て。饅。頭。羊。羹。さ。ら。と。ぞ。焼。大。さ。ら。に
 の。類。と。て。甘。れ。と。嗜。む。と。酒。と。煙。草。と。の。ひ。柿。年。中。よ。只。一。度。正。月。の。松。乃
 内。よ。麻。上。下。と。引。く。け。と。大。さ。な。名。を。た。り。門。と。ま。る。時。な。る。ち。と。あ。ろ。め。け。け。と。
 ぬ。り。ま。の。上。下。さ。ら。と。さ。る。心。願。ま。さ。ら。二。月。初。午。の。稻。荷。祭。あ。ら。う。り。の。つ。い。す。猫
 の。ぞ。く。飲。上。る。食。ふ。と。年。二。月。も。三。日。も。煮。は。ゆ。と。ど。五。月。ハ。門。は。懺。と。ま。て。葛。蒲
 か。と。ひ。け。し。懺。杖。よ。と。と。ら。り。懺。竿。よ。け。ひ。の。わ。り。て。その。危。さ。と。ろ。り。の。膽。を
 冷。さ。二。月。八。日。の。吹。草。祭。よ。一。番。を。と。ら。う。け。せ。兄。弟。牆。は。閱。ど。も。鶴。原。の
 誠。と。ま。へ。ど。り。盟。よ。と。ま。と。れ。ハ。大。誓。文。と。て。秋。の。願。よ。松。と。本。と。喝。け。り。快。と
 打。し。も。と。の。れ。ば。ち。ん。ん。の。く。ぐ。の。M。宝。と。喝。の。咒。あり。三。葉。や。と。髪。と。お。れ。五。文

ありて袴を忍び女子の七葉を解と解と驕奢のたふめして祭の練物とまて生
 涯の面目とよみふらむ。多々耳目を驚とまどもなれば夢想兵衛の再び悟て
 多のど小膝と碓と打子と親て教する父の過る。訓導するその厳くするハ
 師の情まる。父教師厳きと両方外多けまども。学問の成らざるハ子の罪
 あり。と司馬温公のひんも。よろらば。夫又子ハ一體分身又これ又教の
 子より直に成るが名と揚家とも真とま。又教まども。その子学するハ
 父と愛せざる。子よ志ありとりども。その父又まども。教するハ子と喜ぶるあり。
 不幸つらむ甚くする。その不教嶋の形勢とえま。飽中を食ハせ暖イ
 夜せ。一奉くと教るハ親を嚴と。賞罰正しくする。その志は情の
 つらむ。人の子と遠ざる。その勢ハ形勢と。これを責ると甚くけま。ハ
 終る愛と失り。と成るハ必や。師とえ。めり。これが師の思ハ又母の

亞あり。それて擇見ハ物とゆめ。その教りつと。む。い。一。字と十
 金と定む。今の教。百字と習ひ。五。節。供。銭の二百文で。過。多。の。謝。表。之
 と。多。の。文。字。の。相。場。多。く。や。り。直。少。の。あり。ま。世。は。筆。文。旨。の。交
 互。や。り。賣。り。や。り。買。入。文。字。の。相。場。よ。う。な。る。ま。れば。や。り。多。く。習。う。ま。り。ま。り。
 三年よ。り。假。名。奉。奉。の。二。三。奉。も。あ。り。ま。り。物。の。用。よ。う。な。と。お。不。足。負
 之。人。の。子。よ。あ。り。ま。り。の。お。や。と。師。匠。よ。う。な。り。て。年。季。奉。奉。ま。り。出。し
 と。不。か。つ。か。家。に。お。か。せ。わ。り。や。り。あ。り。ま。り。年。中。二。度。の。宿。り。を。待。た。ね。て。使。し
 せ。ま。り。の。親。里。へ。ま。り。檀。那。の。迎。ひ。に。桃。丁。り。つ。り。や。り。と。い。う。て。親
 里。へ。ま。り。バ。兩。親。と。い。う。と。呪。を。ま。り。ま。り。暮。る。ま。り。回。か。あ。り。ま。り。飯。を。ま
 かけ。好。々。唐。茹。子。烹。て。お。か。せ。ま。り。食。物。が。ま。り。内。よ。り。ま。り。瘦。と。ま
 け。と。負。苦。勞。が。ま。り。油。漆。と。黄。楊。の。櫛。と。ま。り。鬚。め。お。か。せ。毛。を。掃。き

持てやまの、まごちの好之陸意なり。朋輩がしらめりの。伴改が毎日天窗を
へらするの内義が大根の皮をむせるの。檀那どのが水と汲とのちせり。後
水と汲るとされば。井戸端をむる。膝改を搦る。と痛うらうとのいひで。後
よよどと呵々か。や。糸。あいの意。このころの。三度の食が細うらう。と
ありもせぬとあるやうか。あふ。となるようの。と。あつ。は。負。苦。勞。も。堪へ
う。後。を。注。出。し。ち。い。ふ。時。り。頭。痛。り。ら。し。や。し。毎。日。天。窗。を。敲。き。て。洞。仁。ま。ぬ
か。も。あ。海。え。が。あ。る。ま。じ。十一。や。十二。の。小。腕。よ。水。と。汲。せ。る。檀。那。ど。の。も。檀。那。ど。の。自。分
の子の可憐い。と。ち。う。ち。の。あ。ひ。や。し。と。や。ぬ。大。根。の。皮。の。大。人。で。も。寒。い。時。あ。つ
か。と。と。む。れ。あ。ん。り。の。あ。つ。指。が。落。ち。さ。う。さ。う。の。店。の。あ。つ。は。せ。も。せ。ぬ。
竈。や。と。さ。さ。る。の。約束。の。外。は。さ。う。搦。る。の。痛。む。の。や。白。龍。香。つ。け。て。せ。る。
その膝改をむし。と。湯。屋。の。二。階。に。居。相。撲。さ。う。と。う。手。と。う。と。う。と。

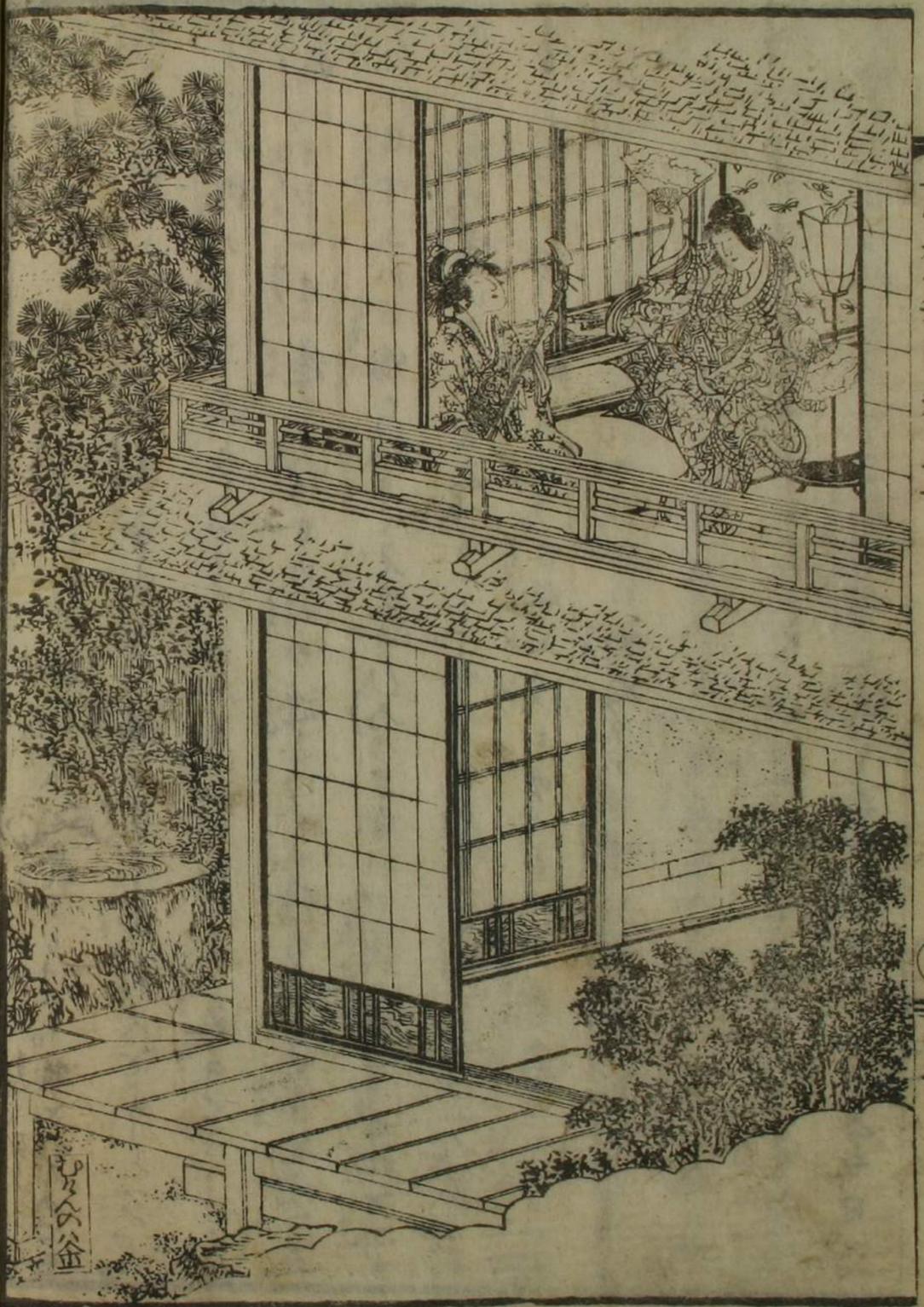
志く棒やまを、すく針箱の引物。搜へて、膏茶の貝がらも。と。れ。の。さ。り
ふ。さ。り。ち。ら。し。今。や。ま。の。う。幸。防。し。と。ん。子。如。い。わ。の。及。び。ぬ。と。や。ひ。ま。さ。り
や。し。や。ま。で。注。し。て。と。れ。と。親。父。も。さ。う。や。う。や。う。と。も。あ。ん。丸。よ。う。て。賣。箇。と。ら。さ。う
ま。は。買。食。ひ。さ。る。と。の。ま。ま。と。も。年。を。さ。ら。う。と。う。海。ら。う。と。面。倒。と。る。ま。よ。し。ま
と。道。と。く。と。さ。う。と。ん。と。如。か。世。間。が。あ。ま。に。抱。せ。て。も。あ。つ。れ。ど。夏。挑。ぶ。の。う。ら。と。こ。へ。ろ。
買。出。し。の。お。ま。が。あ。て。や。る。と。ら。の。賣。入。候。う。と。本。錢。を。減。さ。ね。ば。さ。う。け。と。後。の
と。ら。の。お。ま。ぬ。買。入。の。の。買。入。と。ら。の。それ。う。ら。ま。さ。ら。う。と。身。と。こ。が。さ。う。と。う。や。う
小。錢。と。つ。ひ。お。不。え。事。の。あ。ま。さ。う。替。古。亦。だ。の。う。つ。れ。あ。ひ。酒。の。あ。ま。さ。う。と。ら。の。
う。ら。ま。と。の。え。も。お。不。え。と。後。の。親。の。手。あ。も。入。ら。ね。ば。よ。の。友。と。う。と。増。し。て。と。
雙。敵。の。あ。ひ。と。ま。の。と。と。の。不。教。嶋。よ。ま。く。あ。り。又。う。ら。ま。と。の。あ。ま。さ。う。と。ら。の。と。も
年。季。二。三。年。も。勤。て。さ。う。業。が。入。ら。と。と。と。也。扱。系。と。あ。つ。け。て。柄。抄。一。年。と。

五十三驛と股よりけ。明も暮てもさふらぬの多くと食と三日とれがま
 られぬといふ後よりれど。それより勤かひやあり。のうらぐりのふも由あると
 神の導給もふと。その度へ免されるも。残る七年と勤果るの稀あり。蹴る
 馬も是は隙があればこそ。人をも蹴るもれ上手が守るは。あちふらぐらじ
 こらうらふらぐら。些も足とふあさぬゆゑ。蹴るともふらぐら。の駒もやの
 かく。初からう。讀書算筆。文学武藝。身の守ぐら。つけて。半のさぐら。け
 毎日引くを。これを習せ。いよあるとれ。腰へ引つて。茶を汲せ。ま
 を教ゆ。朝より晩まで。さうの駒は隙がぬゆゑ。道への踏まふらぬ
 ののど。それより。庭子もふら。その秋とま。春あつて。子も物と學ん
 とあふも。主する人。その使ひ易れを便利と。僅ある。拾銀して。推幻とれ
 うらこれ。つひ。昼夜。暇がぬゆゑ。終は物習ふら。が。習せと。ま

こら。推さ。の。ま。ひ。ま。れ。奉。公。を。鼻。より。け。親。の。り。と。さ。う。も。美
 ぶ。天晴。筆。文。盲。よ。ま。と。あ。げ。ま。て。も。庭。子。も。や。と。く。人。も。や。肩。で
 風。さ。さ。ら。の。の。ま。の。時。の。役。よ。ま。と。新。糸。よ。ま。と。ま。の。さ。れ。齒。を。切
 て。も。せん。ま。は。主人。も。今。は。う。と。ま。さ。り。推。幻。と。れ。う。扶。持。く。も。ま。と。く
 後。よ。ま。ぬ。ち。う。と。や。と。罵。の。大。さ。ま。を。理。る。物。習。ふ。さ。う。は。習。り。せ。と。く
 後。よ。ま。ぬ。ち。う。と。も。至。極。ま。と。と。高。め。紙。條。を。習。ひ。お。不。え。主。の。益。よ
 と。ま。と。ま。け。と。苦。学。と。り。い。ま。れ。と。主。も。庭。子。も。れ。夫。も。ま。と。ま。と。ま。と
 ち。の。ま。と。ま。と。と。夢。想。兵。衛。の。ま。と。ま。と。ま。と。又。女子。の。風。俗。よ
 こ。ら。と。ま。め。く。直。下。せ。ば。ま。ん。不。不。教。の。土。地。う。と。も。男子。も。ま。と。ま。と。ま。と
 せ。ね。と。三。度。の。飯。も。母親。よ。給。事。ま。ま。く。食。ひ。朝夕。の。卧。簞。も。母親。よ。あ。け
 お。し。と。ま。髪。も。母親。よ。結。せ。履。も。母親。よ。ま。と。ま。と。ま。と。穿。縫。の。物。と。横。み。も

又築山泉水多し四方僅二三尺よるごと。鳥賊の甲の化しを譬と
 る。石龜つりあげらる。佃げともそのひまき。金魚を盥は故され。小
 鳥ハ窓よ啼。松虫鈴虫さうくと。時よ隨て養ふるさる。井戸ハ負
 之務と伏せく側と。田地ハ一土器を一反と定めく。農夫耕を肩は
 てまごも耕さど松の天神を奉り。流石歌を早く覚え。估賣は別條
 あり。屋基店よ借あり。かる費を半者て。りのよく學し。さんあ。十人
 の師とるとも。二季の束脩ハ自在あるんと。夢想兵衛ハ。あへまよ
 するやうみ。小言ハ隙よ糸ハまると伸て。亦鄰の鳴を直りせ。この地ハ
 男女ハ年よりませく。いづれもく志あらうく。嗚呼。さうくも小ぢうた。
 才發。好とま。ま。これハ不教。島よ品あり。ちと趣あるやうなれど。
 遠慮もあ。會釋もあ。さ。出口を利かり。理屈よ似る。不。理。屈。ハ

て。西親者者をや。らめ。あり。ものが。株利根を鼻よりけく。物を習めても
 ま。や。さ。げ。と。い。ま。さ。う。く。ま。あ。る。よ。ま。や。倦。か。来。く。横。ぐ。ら。え。を。よ。く。と。さ。り。
 あ。う。と。れ。件。の。小。ぢ。う。み。と。ら。が。う。り。あ。り。て。一。人。が。い。ま。や。毎。日。て。う。り。あ。り。
 日。輪。ハ。日。中。が。甚。遠。く。入。り。日。の。時。が。近。と。い。ふ。は。傍。の。人。と。い。ふ。と。同。じ。
 されハ日中少の日輪らひささえむひ。入り日あれば甚とれ。これをみて
 揣るとれハ。遠い。ち。い。い。と。ま。さ。う。と。ま。さ。う。う。何。よ。答。ふ。ま。い。又。一。人。と。う。と
 出。く。り。や。く。と。れ。の。僻。言。る。日。輪。出。没。と。れ。と。甚。遠。く。日。中。ハ。却
 近。い。な。い。ふ。と。あ。れ。の。朝。夕。ハ。日。の。影。ぬ。く。日。中。ハ。酷。熱。し。これ。を。り。つ。て
 揣。と。れ。ハ。日。中。が。近。い。と。い。ふ。い。づ。れ。も。一。理。屈。あ。る。と。う。れ。ハ。是。非。の。判
 断。さ。る。の。の。み。く。さ。の。論。終。り。果。さ。さ。う。と。年。久。し。く。あ。る。と。い。ふ。是。を。益
 の。論。あり。う。や。日。の。め。づ。る。如。日。中。が。近。く。と。も。朝。夕。が。ち。う。く。と。も。日。乃



夢枕心土 繪卷六

むらさき

けり。よやくとるもね人間か。や思々推量して。か眼力の及ぶ
 けり。か。かる理屈のひがらるる。とて人ともあつて叶
 ぬ。一知無令の地を。横領せり。時致身はおろそか
 不忠不孝。不義の名を。負せり。これ外々。世用の
 辨。我意とせん。とるゆゑ。戲言由実。あり。これ彼がひよ
 あつて。長く怨を。締ふ。至る。か。少年國。限らば。
 外々の嶋。あ。あ。これ。地の人物。堪悉といふ。とを。ぬ
 物。らく。情。か。親。と。疎。く。何の怨。も。あり。の
 天窓。と。ち。よ。い。と。い。遊曲路。埋伏。く。く。と。い。て。人。を。驚
 けり。ける。く。磔。と。ら。る。物。よ。こ。ま。を。ま。ね。て。賤。い。ふ。は。ど。小
 器用。よ。と。れ。と。孟母。あ。け。は。店。が。え。と。る。め。の。由。あ。つ。て。か。る。團。あ。ゆ。

蓬。よ。か。る。麻。の。ど。才。俊。の。支。嶋。よ。孝。行。島。よ。い。瘦。地。あり。竈
 僅。よ。四。五。行。よ。と。れ。ども。この。島の。男女。の。両。親。者。と。き。敬。く。
 牙。の。為。と。る。い。と。或。も。雪。の中。よ。筆。を。掘。く。こ。ま。を。ま。ね。せ。或。は。氷。の
 上。よ。鯉。を。獲。て。こ。ま。を。ま。ね。せ。両。親。者。よ。廉。器。よ。る。と。と。こ。ま
 子。を。生。ら。ぐ。め。ふ。せん。と。と。黄金。を。掘。出。し。る。め。の。由。あり。と。と。こ。ま
 嶋。の。人。氣。赤。和。あ。つ。て。両。親。者。の。言。禁。よ。違。い。と。と。者。病。む。時
 の。昼。夜。由。断。る。く。看。病。し。或。は。今。昔。四。表。八。表。の。物。が。り。て。徒。然
 と。慰。め。その。心。中。よ。あ。つ。て。と。と。こ。ま。勉。め。く。か。の。ど。く。る。あ。い
 あ。つ。て。こ。ま。実。情。よ。出。し。て。紙。の。至。る。あ。つ。て。か。る。あ。つ。て。天。道。と。と
 憐。れ。こ。ま。と。恵。と。と。こ。ま。の。洪。福。を。得。る。と。と。只。この。島。よ。限。ら。る
 後。想。兵。衛。の。こ。ま。の。好。景。を。見。て。望。よ。感。候。を。拭。ひ。あ。つ。て。寔。よ。孝

と不孝の天性あり。鳥の反哺も羊の跪く乳を吸へも。雁の老か
 の列と乱さぬも。誰教ふやあらざるよ。おのづからかくのまじり。その似
 うるとりして推とも。鶉の反哺をあらざるよ。豚を跪て乳を吸む。鳧も
 長かの列とちもど。世は孝行する子をりつ。老樂よ終せざるハ
 善種と稱す。親の言報不孝な子をりつて。年ふくく苦勞するも。
 悪種と時と親の悪報豆を執まば粟が生粟と執まば粟が生善
 と積ば言人な子孫か出来悪と積ば悪人な子孫か出来る。その已
 より出さく己よ返るりのるまじ。その國の治るぬも。國王の不徳。その家
 のかまじぬも。主人の不徳。その子の教が死も。親の不徳。その身乃
 容らまじざるハ己が不徳るれば人と恨む思癡の至り。子は孝を教む
 志く。その不孝を責るりのる。耕さずと耘むと。稲が登るぬと。

田地を罵りやうみのる。子をたつけるも。気のつまるるのハは。
 朝もたやく起夜もあそく。藤暑中も肌ぬく。寒の日由炬燵へ藤
 まる。胡坐して飯食む。藤るるんぐとる。世ど假初も由虚言つ
 り。理非を明し。決断を速し。賞罰を正く。世ねば家内のりのる。
 腹伏せむ。腹のころも。叱らぬもの。口さがる。叱りつけ。我
 機嫌のよさうハ叱るも。叱らぬ。吾惡の的とさう外へ。その道
 へさける。衣食よする家も。礼節あつる。整ひく。誰教ふね
 ども。親あの手をつく。りのりのとらえ。朝夕の機嫌伺ふより
 外。親と鼻つたあり。てわるも。掃まれば。叱るも。叱るも。と
 由る。されば下賤のりの家をおさむ。ハ。苦くたのめ。明も
 暮ても。五更六更の席薦のう。親子兄弟。藤り。起りて。二件

ひとり金の飯五人中人の粥の汁。香の物よ茶箸を用ひて夜食よ
 とう膳を厭む。草席の束ねて。屋根うへへさき。草鞋はうけて物
 干で乾し。さう腹の穂雪隠ハ先のうのあつりやまらうね。のび
 子の二階下ハ半坪の店賃をあげ。二人中人の夜具も。
 五人の客人。二人の腰さうけ。さらで仁義礼智信と名とり。九尺店
 鎗をつくとつら。りらと物外がえやうさるれど。さあど。まんが
 敬ふかよふさく。白屋は住ハ麻上下。さつめよさる。礼儀中あさ
 親子藤らうんでさう。さくも。親の元よさる。皿の芋と。さあ
 食ふても。歯のあん。かきさる。さくも。考ふ衣食がさる。い
 金錢かゝるても。妻子は侮まぬ。さうさ。考ふ衣食がさる。い
 聖人の教をまら。生さる。さくも。鳥よ及哺の考。雁は辞讓の

公あつる。さる。大さの例。川が。靴とつら。人のりのい。とを
 吹くべさ。りのさ。ねど。それ。教。業。を。刺。を。衝。て。主。へ。ま。ら。
 猿の藝。つ。い。め。つ。び。昔。周。の。成。王。の。と。た。貝。琴。の。遠。さ。夷。が。舞。
 鶴。雀。を。ま。わ。り。せ。り。も。あり。唐。の。玄宗。の。時。舞。踏。馬。が。あ。じ。と。の。禽。
 獸。も。教。を。ま。ら。可。も。子。を。捨。育。ま。さ。る。さ。所謂。不。教。鳴。の。
 習。俗。な。れ。バ。教。を。ま。ら。さ。る。子。の。丹。朱。の。阿。房。を。と。り。バ。教。を。ま。ら。ぬ。と。い。ふ。
 父。の。誓。叟。と。悪。人。又。堯。の。子。の。丹。朱。の。阿。房。を。と。り。バ。教。を。ま。ら。ぬ。と。い。ふ。
 それ。さ。鼻。の。先。の。量。筒。を。り。誓。叟。が。舜。を。憎。ん。だ。後。妻。よ。逐。へ。ま。ら。金。
 の。臺。の。飛。ぶ。る。悪。も。せ。ど。む。ん。親。と。り。さ。舜。の。孝。行。も。あ。つ。れ。さ。る。
 ろ。ら。む。縦。親。が。邪。慳。を。と。り。子。も。又。親。よ。あ。く。ま。く。あ。く。あ。く。さ。る。さ。く。さ。
 又。丹。朱。の。愚。ろ。し。と。い。ふ。堯。の。さ。つ。け。が。よ。け。さ。る。親。又。が。天。下。を。舜。に

